

REFEREE NEWS

公益社団法人千葉県サッカー協会審判委員会
審判委員会ホームページ：<https://chiba-fa.gr.jp/13judge/>

JUL 2025
年4回WEB発行(1、4、7、10月)



目次

2025年度永年功労表彰	P.2~4
第30回千葉県サッカー選手権大会 決勝審判員表彰	P.5~8
昇級審査合格者のお知らせ(サッカー新2級・新3級審判員/フットサル新3級審判員)	P.9~12
今日も地域で頑張っています!! 5月31日(土) 関東U-18女子サッカーリーグ2部 @高瀬下水処理場上部運動広場	P.13~14
2025年度 第2回 サッカー3級審判員昇級認定審査のお知らせ サッカー4級・3級・2級審判員更新講習会のお知らせ ~	P.15~16
2025年度 第2回 フットサル2級審判員推薦審査のお知らせ	P.17~18
県強化研修会を開催しました	P.19
第1回ビーチサッカー審判員研修会を開催しました	P.20~21
第1回フットサル女子帯同審判員研修会を開催しました	P.22
レフェリーのユニフォーム/用具について	P.23~24
サッカー競技規則の改正 2025/26	P.25
編集後記	P.26

～おめでとうございます！2025年度永年功労表彰～

≪10年表彰者≫ 199名(記念品として10年表彰トスコインを送付しました)

≪20年表彰者≫ 新井 雄次郎氏、市ノ瀬 勝治氏、茅野 祐一氏、畑田 浩一氏

≪30年表彰者≫ 大浦 浩二氏、小林 利男氏、高山 武之氏、西本 滋一氏

20年、30年表彰者の方々には5月10日(土)の審判委員会全体会議の終了後に表彰式を行いました。なお、仕事の都合等で新井氏、市ノ瀬氏、大浦氏、小林氏、西本氏の5名は欠席のため表彰盾を送付し、後日コメントをいただきました。(文中敬称略)



☆ 30年表彰 ☆

大浦 浩二(おおうら こうじ)

表彰いただき大変有り難うございます。長男が若葉区の若松エルフSCでサッカーを始め、試合に帯同する為に4級審判資格を取得しました。その後、3級資格を取得しました。3級取得時に呉羽さんと佐倉の岩名総合運動公園で体力審査で一緒に走った事が今でも印象として残っています。

現在は千葉市4種審判部で主に活動しております。岡田滋さん(元審判部長)始め、多くの先輩と仲間に恵まれ、サッカー、フットサル、ビーチ等、沢山の楽しい審判経験をさせていただきました。審判チームと家族に感謝です。

これからも微力ですが、体力の続く限り審判活動を続けられたらと思います。有り難うございました。





小林 利男(こばやし としお)

この度は、表彰ありがとうございました。30年と言う年月に改めて年月の永さを思います。自分も子供がサッカークラブに所属したのが審判活動の始まりでした。

常に向上心を持って！と言い聞かせていましたが、自分はどうかの？と思い3級にチャレンジし合格いたしました。その後今日までチーム帯同審判として活動してまいりました。最近体調が、思わしくなく段々指すレフェリングができなくなりましたが、体調をみながら貢献したいと思います。改めて表彰ありがとうございました。

高山 武之(たかやま たけゆき)

表彰していただき、ありがとうございます。子供が幼稚園の年中からサッカーを始め、クラブの要請もあり審判資格を取りました。その後、指導者資格も取り、気が付いたら永年表彰を受けるまでに続けておりました。

続けてこられたのは、これまでに関わっていただいた皆様のおかげだと思います。甚だ微力ではございますが、体の続く限り精一杯活動していきたいと思っております。今後とも、よろしくお願ひ申し上げます。



西本 滋一(にしもと しげかず)

この度は30年永年表彰を賜りありがとうございました。

1994年に4級取得後、1998年に3級を取得してから2015年までは県協会から1種～3種の派遣割当をいただき活動しておりました。2016年からは地元の流山市、東葛地区において4種を中心に活動しており、30年間で担当させていただいた試合数が1,180試合となりました。この間、審判委員会、地域の方々、そしてチーム関係者や選手の皆さんには大変お世話になりました。皆さんありがとうございました。

また、毎回、特大のおにぎりを持たせて送り出してくれた妻にも感謝です。今後も微力ながら地域のサッカーのお手伝いが出来ればと思っております。

☆ 20年表彰 ☆

新井 雄次郎(あらい ゆうじろう)

この度は20年表彰をして頂きありがとうございました。審判履歴としては息子が少年チームに入った数年後でした。4級取得後3年でH8年4月に3級取得(当時は県で135名でした)依って30年は超えていると思います。しかしながら4～5年前にうっかり失効してしまい、すぐさま受講し4級を取得し直し現在に至りますので20年表彰という事でお願ひしました。(実際、失効には大分落ち込みました、、、)歳も60代後半になり、身体の衰えをしみじみ感じますが、千葉市協会の基、少しでも尽力になればと考えております。





市ノ瀬 勝治(いのせ かつはる)

この度は永年表彰 20 年をいただきありがとうございました。

実は現在 26 年目シーズン突入しています。あと 5 年で 30 年表彰となるので、その際表彰をいただくつもりでいましたが、審判仲間等からの声もあり、今回表彰をいただくこととなりました。

いつまでできるかわかりませんが、あと 5 年現役で選手に迷惑をかけず好プレーをピッチ内の特等席で観られるよう体をケアしながら頑張りたいと思います。これまでの審判活動で色々な方と出会えたからこそ続けてこられました、感謝です。

この度の表彰ありがとうございました。

茅野 祐一(かやの ゆういち)

松戸市の 4 種登録、つくしサッカークラブでコーチをしております、茅野祐一です。20 年永年功労表彰式に出席させて頂きありがとうございます。

これまで続けて来られたのも、自チームの部員、保護者、コーチ達に支えて貰ったおかげです。また、松戸市審判部のメンバーとは各種の大会でお互い切磋琢磨し、レフェリングの技術向上に役立っている事に感謝しております。

そして何より週末に早朝から練習や試合に出掛ける私を厭な顔一つせず…とはいきませんが、黙って送り出してくれる妻には心より感謝しております。

今後も専ら 4 種のカテゴリーでの審判活動がメインとなりますが、大病、怪我には注意して一日でも長く続けていけるよう精進していきたいと思っております。

本日は誠にありがとうございました。



畑田 浩一(はただ こういち)

この度は、このような名誉ある永年表彰を賜り、誠にありがとうございます。振り返りますと、審判活動を通じて多くの試合や選手、関係者の皆様から貴重な経験をいただき、それが自分自身の成長に繋がったと実感しております。支えてくださった皆様、そして家族に心より感謝申し上げます。

現在はインストラクターとして、次世代の審判育成にも取り組んでおります。これまで培った経験を若い世代に伝えることで、サッカーの現場がより公正で活気あるものになるよう努めてまいります。これからも初心を忘れず、千葉県サッカー協会の発展とフェアプレー精神を広げる一助となるよう全力を尽くしていきたいと思っております。この度は誠にありがとうございました。

堀川委員長より

本日はお忙しい中ご足労いただきありがとうございます。20 年、30 年の長きにわたり千葉県のサッカーを支えていただき感謝いたします。大先輩を前に頭の下がる思いで、私も同様に身体の動く限り続けられるか？と思うとなかなか難しく、うらやましい限りです。現在の制度では 30 年表彰までですが、これから人生 100 歳時代になると 40 年、50 年と増設していかなければと思っています。特に、千葉県はシニアの大会も多くなっていて、若い方からシニアの方々までサッカーを楽しむ環境が増えているので、審判も更に必要になっています。これを機に更に長きに渡り頑張っていたきたいと思います。本日はおめでとございました。

表彰式後に懇親会を開催

永年表彰の表彰式後に審判委員会で表彰者を囲んで懇親会を開催しました。

様々な経験談とサッカー談義で大いに盛り上がりました。

来年も計画しますので、よろしく願いいたします。



第30回千葉県サッカー選手権大会

(天皇杯JFA第105回全日本サッカー選手権大会 千葉県代表決定戦)

2025年5月10日(土)13:00キックオフ フクダ電子アリーナ

プリオベッカ浦安・市川 1(0-0、1-1、EX0-0、0-0、PK4-5)1 順天堂大学蹴球部

R:菊池 俊吾氏、AR1:永島 淳平氏、AR2:後藤 修平氏、4th:黒澤 航介氏(文中敬称略)

フクダ電子アリーナで千葉県のサッカーチームナンバーワンを決める試合を終えた審判団にインタビューを行いました。



(左から 後藤 修平さん、黒澤 航介さん、千葉県サッカー協会片岡会長、菊池 俊吾さん、永島 淳平さん)

Q : 本日はお疲れ様でした。まずは、決勝戦を終えた感想をお願いします。

菊池 : 千葉県の1種の頂点、そして天皇杯の出場チームを決める重要な試合を無事に終えることができました。副審の永島さん、後藤さん、第4の審判員の黒澤さんの協力、千葉県審判委員会や千葉県サッカー協会の皆様のサポートのおかげで最後まで集中して取り組むことができました。本当にありがとうございました。

永島 : 天皇杯への出場権をかけた大きな試合で両チームの熱量のようなものは感じましたし、PK戦までもつれる激戦で、観客の皆様も盛り上げていただけたかと思います。そうした試合に対して、私たちの判定や1つ1つのアクションがゲームに対して良いものであれば嬉しいですし、御協力いただいた両チームの皆様にも感謝したいです。

後藤 : 延長PKまでもつれましたが、まずは何事もなく無事に試合が終わってほっとしています。主審の俊吾君の素晴らしい判定とゲームコントロールのおかげで、自分自身の任務に集中することができました。両チームにも勝敗を受け入れてもらえ、清々しい決勝戦だったと思います。普段120分副審をやるのが無いので足がパンパンです。(笑)

黒澤 : (4月号に続き黒澤のコメント飽きたという方、ご容赦ください。笑)

非常に疲れました。PK戦までもつれる激闘の末に勝敗が決まりましたが、審判団4人が協力しとても良い試合を提供することができたと思っています。憧れの優しいお兄さん3人(菊池さん、永島さん、後藤さん)に囲まれて、とても楽しく安心しながら試合に臨めました!



Q : 菊池さんは1級になられて初めての県内での大きな大会の主審でしたがいかがでしたでしょうか？

菊池 : 不思議と緊張感はなく、リラックスして臨めました。子供のころから慣れ親しんだスタジアムだったので、独特な雰囲気というよりも「またここに帰ってこれたな！」という安心感と嬉しさの中で試合に臨めました。選手たちもプレーに集中して協力的だったので、円滑にゲームを進めることができました。



Q : 永島さんは3年前の2022年以来2回目の副審でしたが、前回と比べて気持ちの面などで変わった事はありますか？

永島 : 特に変わりはありませんでしたね。この3年でまた経験値を高めたと思いますし、副審としていつも通りまずは1つ1つ正しく判定することと、主審にとって必要な援助をすることに集中するだけです。ただ、前回の決勝はコロナ禍の制限があつて、声援がなかったのもので、今回はそうした試合の空気感の違いは感じましたよ。

Q : 後藤さんと黒澤さんは初めての1種選手権決勝でしたが、いかがでしたか？楽しめましたか？

後藤 : とても楽しめました！審判員4人で揃って駅から歩いて会場入りして、コミュニケーション取りながら試合に臨むことができました。一緒に組んだ3人は普段レベルの高い環境で経験を積んでいるので特に不安もありませんでした。



想像以上に応援がスタジアムに反響し、普段の環境とは違うので緊張感もあり、あまり周りを見る余裕は無かったのですが、後半くらいから慣れてきて『楽しいなー！』って思いながら走っていました。

黒澤 : 延長に入り、両チーム交代をすべて使いきり、忙しくバタバタした場面もありましたが、とても良い経験となりました。

また、数年前まで上のスタンドで試合を見ていたフクダ電子アリーナに、審判員としてピッチに立てることができてとても感慨深かったです。

Q : PK戦まで試合が決しない好ゲームでしたが、延長戦になったときの気持ちは？

例えば「残業かあ！」とか(笑)

菊池 : 実は試合前から審判団で「延長になりそうだな」という話をしていました。私が決勝トーナメントの試合を担当すると延長戦やPK戦になることが多いので予感していました(笑)。

延長戦になったときは「やっぱり延長か！(笑)」という気持ちと「せっかく素晴らしい環境で試合ができるのだから楽しもう！」という前向きな気持ちが混在していました。

永島 : 延長戦までもっていきがちな審判員なので、「まあそうなるよね」って感じですよ(苦笑)。ただ、もちろんすぐに試合に対して切り替えますよ。「両チームどんな試合運びしたいのかな?!」とか考えます。

後藤 : 後半アディショナルタイムのPKで同点になって延長となったので、俊吾くんがPK判定した時は「まじか…」と思いましたし、夜に外せない用事があったので間に合うかなと心配になり会場のスクリーンの時計をちらっと見ました(笑)。ただ延長戦は試合が終わってほしくないなって思えるくらい楽しめたので延長になって良かったな！と今は思っています。

黒澤 : まずは交代回数、枚数が追加になるので、エラーが起きないように審判団全員と共有しようと考えました。また、より試合の温度が上がることも想定されたので、「ここから集中！」と独り言を言ったのを覚えています。(ふざけてません)



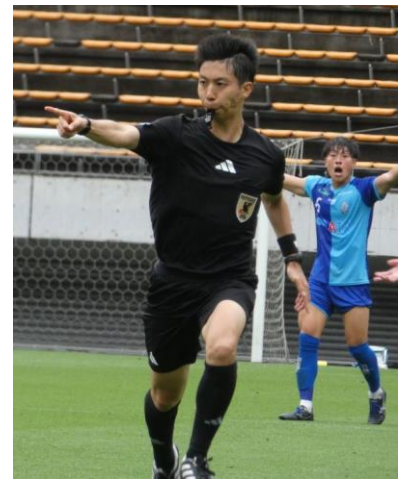


Q : ズバリ!今日の試合のキーポイントは?

グッドポイントや映像などで確認したいシーンは?

菊池 : やはり後半アディショナルタイムのPK判定でしょう。勝敗が決まりそうな時間で重要な判定を落とさずに判断できたのは、1試合を通して良い予測と準備からなるポジショニングができていたからだと思っています。

もう1つは永島さんにファウルサポートをいただいたシーンですね。私の角度からは分かりづらいホールディングの反則を迷いなくフラッグアップしていただきました。ベンチ前からも掴んでいる手は見えやすかったので、ゲームコントロールに大きく響く判定だったと思います。正しく判定できたのも永島さんの勇気あるフラッグアップのおかげでした。



永島 : オフサイドに絡むところは、旗上げた・上げなかった全部見たいですね。また、絶対に必要だったと思われるサポートは、菊池さんがおっしゃった、後半にFWが相手DFをホールドして抜け出そうとした場面ですね!主審からは絶対に見えないところだったので、タイミングよくファウルサポートする必要があったので、主審にとって助かったと思ってもらえたなら良かったです。

後藤 : 黒澤君が、怒涛の交代ラッシュにてんやわんやしているところです(笑)。延長で追加される交代枠も含めて両チームをフルで交代カードを使用しましたし、管理が大変だったと思います。

黒澤 : 90+3分に起きたPKのシーンですね。このまま試合終了も過ぎりましたが、サッカーの神様はエンターテイナーでしたね!

Q : 皆さまお若くて、まだまだ伸びしろ十分ですが、今後の目標と将来像のイメージはありますか?

菊池 : 理想を高く持つことは大事だと思います。しかし、まずは今の自分の立ち位置を理解して1つずつ試合を大事に取り組んでいくことが目標達成に繋がっていると思っています。

将来的にはやはりJ1の舞台で主審として試合を担当し、国際審判員になることが目標ですが、まずはJFLの舞台で、選手やチーム、ファンのためにフェアでエキサイティングな試合を演出できるように、良いパフォーマンスを発揮していきたいです。

永島 : と言っても今年28歳ですからね…苦笑

伸びしろはあるとしても、くすぶり倒してきたこの数年間でだいぶ未来は霞んできたなっていうのが、悲しいですけど最近感じているところです。目標や将来というよりは、1試合ずつしっかり準備して、試合では力

を尽くして、自分を高めていくこと、その試合が多くの方にとって良いものになることを目指すのが良いのではないかと思います。

千葉には僕より若く、希望に溢れた審判員もいると思いますので、そうした審判員に良い影響を与えられるような人ではありたいと思います。手本になるような審判員でもないかとは思いますが、まだ体は動きまわらずし、上のステージが上がっていく熱意自体は消えてはないので、活動していく中で何か感じ取ってくれるものがあれば、まだしぶとく頑張る意味はあるのかなと思っています。1年ずつやっていますよ。

後藤：自分も、もう若くないです(笑)

今後もいただいた試合を全力で取り組み、自分自身の成長や千葉県のサッカーレベルアップに少しでも貢献できればと思います。また決勝戦の割当をいただけるように頑張ります！



黒澤：伸びしろ十分と言われますが、伸びるかどうかは私の努力次第です。

明確な目標は、来年関東Xカテゴリーに昇格すること。2～3年後に1級候補(プール審判員)として活動することです。ですが、その目標を達成するためにも日々の努力を忘れずに、1試合1試合に全力で取り組み、良い試合を提供することが私たちに求められていることだと考えています。それができれば必然的にチャンスは巡ってくると思うので、目の前のことから全力で頑張ります！

【動画】※2025年9月30日まで掲載(リンクをクリック) [入場シーン.mp4](#)

[試合前セレモニー.mp4](#)

[試合前コイントス.mp4](#)

[試合の様子.mp4](#)

[ウォームアップ①.mp4](#)

[ウォームアップ②.mp4](#)

[ウォームアップ③.mp4](#)

[ウォームアップ④.mp4](#)

【その他写真】



みなさま、お疲れ様でした。ありがとうございました！



昇級おめでとうございます!

昇級審査合格者のお知らせ

【サッカー2級】(順不同、敬称略)

岡元 佳紀 金坂 健汰 木原 龍斗 松井 誉啓 渡部 功大

サッカー2級昇級者よりコメント

岡元 佳紀(おかもと よしき)

この度2級審判員に昇級しました岡元佳紀です。私が審判員としての活動を始めたキッカケは、大学の頃の同期の存在でした。初めは帯同審判としての活動が多く、あまり自主的には活動してはいなかったのですが、堂々と審判をする同期の姿をみて興味を持ったことがキッカケです。

そして私は、何事もやるならば上を目指したいと思っていて、上を目指すための過程として今回昇級試験に臨みました。今回の昇級はとても嬉しく思いますが、まだスタートラインに立っただけなので、これくらたくさんの経験をし、スキルを身につけチャンスをいただけるように活動していきたいと思えます。



金坂 健汰(かねさか けんた)



この度、2級審判員として活動させていただくことになりました。金坂健汰と申します。昇級するにあたり千葉県サッカー協会審判員委員会の皆様、担当コーチ柳澤様、ユース研修でお世話になった清水様、松浦様、今様、片桐様、山崎様にこの場を借りて感謝申し上げます。

審判になった経緯は、中学生のときに、サッカーのルールを知ってプレーをすればよりサッカーを知ることができると思い取得しました。(学生の時はあまり審判活動できておりませんでした、...)

2級を目指したきっかけは、選手の時に立てなかったピッチに立ちたいという思いがあり2級審判員を目指しました。

今後の抱負は、選手時代にお世話になった千葉県に審判員として恩返しできればと思います。また、今までお世話になった方々や陰でサポートしていただいている方々への感謝の気持ちを忘れずに、楽しく活動していきます。今後ともご指導の程よろしくお願ひ申し上げます。

木原 龍斗(きはら りゅうと)

この度、2級審判員として活動させていただくこととなりました、木原と申します。これまでご指導・ご支援いただきました千葉県サッカー協会審判委員会、大阪府サッカー協会審判委員会、関西学生サッカー連盟の関係者の皆様に、心より感謝申し上げます。

私が審判を志したきっかけは、父が審判をしていたこと、そして中学2年生の頃、試合を有利に進めるためにルールを深く理解したいと考えたことにあります。そのような思いから、3級審判員の資格を取得いたしました。大学進学を機にプレーヤーとしての活動を終えたことをきっかけに、より高いレベルを目指して審判としての道に本格的に進むことを決意しました。関西学生サッカー連盟をはじめとする多くの審判員の皆様と議論を重ねる中で、試合中のみならず、審判と



しての在り方や判断基準など、多くの知見を深めることができました。

今後は、自分自身の成長にとどまらず、他の審判員の模範となるような存在を目指し、より一層精進してまいります。引き続きご指導・ご鞭撻のほど、何卒よろしくお願ひ申し上げます。

松井 誉啓(まつい やすひろ)



皆様こんにちは、この度2級審判員になりました松井誉啓です。私が審判を始めたきっかけは中学の頃、顧問の先生から誘われて資格をとったのが始まりでした。受験とかで高校生になるまではあまり審判をすることはなかったのですが、たまたま入学した高校で改めて審判活動をしてみようかなと思ひ、今に至ります。

私が2級を目指そうと思ったのはちょうどその時だと思ひます。より高いサッカーの試合に関わりたと思ひました。選手が一生懸命プレーしているのを間近で見るとそれに応えたいと思ひました。そのために、色々な審判員の動きと判定基準、考え方を自分の中で吸収していきながら自分なりの審判像をつくってきました。まだまだ完璧とは程遠いですが、毎試合自分の100%を使えるようにすることを意識して生活しています。少しでもサッカーの面白さを見ている人たちに届けられたらいいな！と思ひています。

これからの目標は最終的なゴールはワールドカップに出ることだと自分では考えています。そのために審判活動だけではなく、これから審判を始める方や昇級を目指す方のきっかけになれるよう、人として尊敬されるような人を目指していきたくです。審判活動では楽しいことだけではなく、大変なことやうまくいかずに苦勞することもあると思ひますが、それ以上にやりがいや楽しさがあると思ひています。今では生活の一部が審判となって様々な方達と

関わることも増え、非常に良い機会をいただいていると思ひています。私が審判員として高みにいくことが恩返しだと思ひているので、これからも頑張っていきたいです。割当等で見かけたら、声を掛けてください。

最後に2025年も残り半年！審判も選手と同様、体が資本ですので、皆様が怪我や病氣なく審判活動できるよう願っております。

渡部 功大(わたなべ こうだい)



【審判員になった動機】

大学生のときに、4級は取得していましたが、その際は一度も笛を吹くことも、旗を振ることもなかったです。その後1年以内で失効してしまい、再取得して現在に至ります。またピッチに立ちたいという思ひがあったのですが、プレーはもういいかなと思ひ色々考えていたときに、ジャッジリプレイを見てレフェリーに興味を持ち始めました。

【2級を目指すきっかけとその後の努力】

胸に光るシルバーのワッペンを横目に、憧れの気持ちがありました。周りのベテラン・先輩レフェリーの方々はスマートに試合をされていて、すごいな！と思ひていました。ワッペンの色もそうですが、それに見合った実力をつけたい、経験を重ねたいと思ひていました。試合ではご指導いただいたことに忠実に従ひ、前に進んだり、後ろに戻ってしまったり、ときには寄り道したりを繰り返して、少しずつできることが増えてきたと思ひます。試合ではとにかく動くことが、昨年の1番のテーマでした。経験が浅いし、テクニックもないし、引き出しも多くないので、とにかく動いて見ることを意識しました。1試合何キロ走ったかという記録はつけていませんでしたが…

【今後の抱負】

まずはご指導いただいた方々に、この場を借りて御礼申し上げます。まだまだやるべきことが山積みですので、今後ピッチでお会いする皆様にも、色々ご教示いただければ幸いです。また、ご期待を裏切らぬよう愚直に進歩し続け、将来を担うレフェリーになれるよう、今後も引き続き尽力してまいります。2級に昇級はしたものの、まだまだ実力不足・経験不足ですので(本当に)、引き続き皆様の熱いご指導をよろしくお願ひいたします！

【サッカー3級】(順不同、敬称略)

審判委員会主催(36名)

浅水 孝雄	石井 尚	石橋 和宜	乾 雄貴	上野 恵司	上原 勉
岡田 湧介	岡林 克	工藤 宏二	酒井 健博	先間 正貴	末吉 集一
田島 賢一郎	津田 慎太郎	時岡 昌弘	床鍋 友紀	中尾 幸志	中河 輝久
西元 久雄	疋田 信治	樋口 大和	久永 翔	廣瀬 俊彦	深津 裕司
福田 要	舟川 湊恭	舟川 洋次	保坂 俊輔	益田 博史	柳崎 晃司
柳澤 祥平	山口 哲生	山崎 力	山元 裕哉	吉田 修一	吉田 拓矢

大学連盟主催(66名)

雨ヶ崎 稜真	荒川 夢汰	有東 龍輝	石井 碧士	石井 武蔵	石田 然
石塚 音哉	市川 峻	井上 武	岩渕 里城	氏家 大夢	大瀧 勝也
大滝 翼	小笠原 大夏	笠原 浩耀	片岡 真也	川上 陸斗	北崎 海翔
黒澤 蒼太	幸田 隼人	小棚木 蒼大	小谷 蒼良	今野 貫太郎	佐藤 晟樹
佐野 冬弥	鈴木 翔太	陶山 快斗	高倉 大守玖	館野 勇輝	谷口 昌暉
谷本 光翼	千葉櫻 伸	椿 翔祐	照屋 颯大	外山 颯一郎	長岡 航
長澤 伯	並木 耀大	西原 幹大	長谷川 凌翼	平野 伶	平山 俊介
藤平 昂志	保坂 好寿	星野 慶人	堀田 希	真壁 拓海	牧原 汐楽
松岡 翼	松永 哲平	南 大地	女良 明日夢	望月 健悟	森 翔吾
森岡 沙吏	安井 大晴	柳沢 蒼空	屋成 征輝	山城 勇稀	山村 權斗
湯尻 大樹	湯田 大賀	吉川 純ノ介	吉見 奏大	渡辺 悠伍	渡辺 廉

サッカー3級昇級者よりコメント

岡林 克(おかばやし まさる)

まず、このような機会を設けて頂いた千葉県サッカー協会の関係者の皆様に感謝申し上げます。

浦安市の四種クラブであるF.C.浦安ブルーウィングスにておよそ12年指導者として活動する中で、審判としての経験を重ねて参りました。4種の競技レベルも年々高まっており、指導者としてのレベルアップのみならず、審判のレベルアップの必要性も感じるどころです。

JFAが掲げるエンジョイ、プレイヤーズファースト、フェア、チャレンジ、リスペクトのバリューに基づき、千葉県ひいては日本のサッカーのサステナブルな発展に、微力ながらも、加齢に抗い続けながら、貢献出来ればと思っております。



中河 輝久(なかがわ てるひさ)

2021年に長男がプレーしていたマリーナFC浦安にコーチとして参加してから、人員不足もあり審判対応を始めた事が活動のきっかけでしたが、浦安市サッカー協会審判部及びクラブの諸先輩方・仲間達から温かくご指導頂き、その難しさと楽しさを学びました。

そんな中、長男が出場する試合の主審をした機会がありましたが、彼がそれまで見たことのない真剣さでプレーし、仲間とゴールを目指す姿をフィールドの「中」で間近で見た時の感動はハンパなく(笑)、現在も審判活動を続ける原動力となっています。

3級受験のきっかけも、中学生になった長男達が出場する試合で、しっかりジャッジ出来る為に、という大変個人的なものですが、どのような試合でも選手たちが安全且つ健全にサッカーを楽しめるジャッジが出来るよう、技能を高めていく所存です。

私は今年、54歳で3級昇格試験に合格する事が出来ました、こちらをご覧になっている皆さんもまだまだイケます。ぜひチャレンジして下さい！！

舟川 湊恭(ふなかわ そうすけ)

私が審判活動を始めたきっかけは、あるテレビ番組の審判の特集を見て自分も別の視点からサッカーを考えることができるのではないかと考え審判活動を始めました。

審判をやっていくうちに難しい判定や今のユース世代の審判事情などが分かかっていき、もっと上の級を取ることでよりサッカーの考え方が変わるのではないかといい3級取得を目指しました。

競技規則を覚えるためにその文だけでなく、それがどんな場面でどのようなかなど実例を考えながら覚えていきました。

今年の抱負はより良いレフェリングをすることと、サッカーに関わる全ての人に審判への関心を持ってもらうことです。これからよろしくお祈いします！



【フットサル3級】(敬称略)

阿部 修兵

フットサル3級昇級者よりコメント

阿部 修兵(あべ しゅうへい)

学生の頃からフットサルに親しみ、選手としてプレーしてきましたが、「別の視点から競技に関わってみたい！」という思いから、審判活動を始めました。3級審判を目指したきっかけは、よりレベルの高い試合で経験を積み、自身のスキルを高めたいと考えたことです。上級審判の方々のジャッジや所作を参考にしながら、試合後の振り返りやルールの学習を重ね、日々の活動に取り組んできました。

今後は関東リーグやFリーグ、そして将来的には国際大会での活動も視野に入れ、2級・1級・国際審判への昇級を目指してまいります。審判としての視点を持つことは、選手としての理解にも大きな学びを与えてくれます。フットサルをより深く知りたい方には、審判という立場での関わりもぜひお勧めしたいと思います。



**おめでとうございます！
今後のご活躍を期待いたします！！**



今日も地域で頑張っています！！

～いつも各地の大会会場で頑張って審判している方々を紹介します～

2025年5月31日(土)

関東U-18女子サッカーリーグ2部
～高瀬下水処理場上部運動広場～



千葉県内では様々な大会が開催されていますが、そこで日頃から活躍している審判の方々にスポットを当てて取材しました。今回は関東U-18女子サッカーリーグで派遣審判員として頑張っている皆さまにインタビューをしました。

- | | | |
|-------------------|--------------------------|----------------|
| ①：氏名(敬称略) | ②：審判歴 | ③：審判になったきっかけは？ |
| ④：審判活動で印象に残っていること | ⑤：これだから審判は辞められない審判の魅力とは？ | |

- ①：富本 晋平(とみもと しんぺい)
 ②：約5年です。
 ③：高校サッカー部の恩師である平野伸一先生がレフェリーをされていたので、当時から何となく楽しそうだと思っていました。ちゃんと審判活動を始めたのは息子の帯同チームで手伝うようになってからです。
 ④：市川委員会で初めて主審をさせてもらったU-15の試合です。重大なファウルを見逃してしまい、ハーフタイムにコーチから猛抗議を受けたことです。今も悔しい思い出として残っています。
 ⑤：選手から感謝された時ですね。直接言われなくても、試合中に選手同士で「今日の審判ちゃんと見てくれる」みたいな声を聞くとテンションが上がります。



- ①：津山 幹規(つやま みきのり)
 ②：約11年
 ③：子供の所属するチームの帯同審判を務めたのがきっかけです。
 ④：割り当ての試合で始めて主審を務めた際、緊張で頭の中が真っ白になり、試合が終わったときに何も覚えていなかったことです。(熱中症によるものではなかったと思います)
 ⑤：あらゆる立場・背景の人たちと出会い、同じ目的に向けて協力しながら、喜びや悔しさを分かち合えることです。たとえ経験や職業、年齢、性別が異なっても、ピッチ上や試合前後では一体感が味わえること。そして、その中で互いに刺激を受けながら、自らの技術や判断力を磨き続けられる環境と機会にやりがいを感じています。



- ① : 渡部 功大(わたなべ こうだい)
 ② : 2023年の春に審判資格を取得し2年が経過しました。
 ③ : 幼稚園から大学までの約20年間プレーしていましたが、卒業してからはサッカーから離れてしまいました。ピッチに戻りたいと思い、レフェリーとしてサッカーに関わることを選びました。
 それまでは、特にレフェリーに興味があったわけでもなく、誰かに頼まれたわけでも誘われたわけでもなかったのですが、たまにやる機会があったときに、「嫌ではないな！」という印象があったくらいでした。なぜか、ふと資格を取得して、多くの方との素敵なお縁があり、ここまで楽しく続けることができました。
 ④ : 「審判見てくれてるよー！」というチームの声かけが嬉しかったです。試合を通して、両チームとも私のジャッジに納得していた様子の試合で、数少ない上手くやれた試合でした。
 ⑤ : 多くの審判仲間と出会い、切磋琢磨できることがとても楽しいです。プレーヤー、レフェリー、スタッフ、サポーター、どんな形でも大好きなサッカーと関わるのがFootballerであることだと信じており、この先もずっとFootballerの一員でありたいと願っています。
 また、試合終わりにラメンニンクマシマシをかき込んで、サウナで整い、帰宅後に冷えたビールで一杯やるのは、私の週末の至福のひとつです。



- ① : 大勝 雅禎(おおかつ まさよし)
 ② : 16年
 ③ : 息子が地元のサッカーチームに入り帯同審判を始めたのがきっかけですが、野球をやったそうな息子に「一緒に行くからサッカーやろう！」と半強制的にサッカーに誘ったのが、真の理由です。
 ④ : 1つは、高校選手権の千葉県予選の準決勝の副審を担当したこと。もう1つは、社会人リーグの試合終了後、着替えて帰る準備をしているときに、試合に出ていた選手から「きちんと判定してくれて、これまでの審判員で一番良かった」と言われたことです。とても自信になりました。それ以降なかなか言われることはありませんが、毎回言われるよう日々精進しています。
 ⑤ : 既に50を超えていますが、判定精度の向上など、まだまだ成長を感じながら審判活動ができているところですかね。いつまで走れるのか分からないので、無難に終わらすことなくベストを目指し走っていますが、終わると毎回反省(伸びしろ?)しています。ベテランズの一員ですが、上には上がいるので負けずに頑張りたいと思います！

「地域で頑張っている」レフェリーを取材に行きます！

千葉県内の様々な地域で色々な大会が行われて、そこで頑張っているレフェリーを取材に行きます。例えば、4種の各ブロックが主催する大会で主管部から指定された方々、各市の審判部会から派遣された方々、地域やチームの招待試合において数名で審判を担当する方々など、また「こんな名物審判がいる！」など、紹介したいレフェリーなど情報をいただければ、総務部が取材に行きます。情報を以下でメールしてください。(大会名、日にち、時間、レフェリーの人数等)お待ちしております。

メールアドレス:cfarc.somu@gmail.com

《2025年度 第2回 サッカー3級審判員昇級認定審査のお知らせ》

1 受験資格

- (1) 2025年度の(公社)千葉県サッカー協会(以下「千葉県協会」)4級審判員として登録していること。
※申込み時に15歳以下の者が審査に参加する場合は、親権者の同意が必要。
- (2) 受験当日までに、2026年度の4級更新講習会への受講がないこと。(更新手続きのみを含む)
※4級審判員としての更新手続きが完了していると、受験資格はありません。
- (3) 3級審判員に昇級後は、千葉県協会の審判派遣に積極的に従事する意思があること。
※上記の意思が確認できない場合、2次審査の参加を認めない。
- (4) 次の審判実績のいずれかがあること。
 - ア サッカー4級審判員として5試合以上の実績があること。
 - (ア) 5試合以上の実績のうち、主審が1試合/副審が1試合以上であること。
 - (イ) 4種の試合(8人制含む)は、1日2試合までを限度に審判実績として計上できる。
※例として、同じ日に4試合主審を担当しても、審判実績は2試合分だけしか認めない。
 - (ウ) フットサルおよびビーチサッカーの審判実績は計上できない。
- イ 顕著なサッカー歴を有している者。
※本項目については、千葉県協会が判断する。
- (5) その他
 - ア この審査を受験する1年以内に健康診断を受け、審判活動に支障がないこと。
※職場、学校等の健康診断を含む。健康診断を受けていない場合、2次審査の参加を認めない。
 - イ 受験者は、審査参加にあたって、不慮の事故や疾患に関する一切の責任を自己で負う。
 - ウ 3級審判員に昇級後の審判活動に従事中の事故については、千葉県協会が加入する審判障害保険の範囲内で補償されるが、各自でスポーツ障害保険等の保険に加入していることが望ましい。

2 審査基準

- (1) 千葉県協会が主催する試合の主審を務める技能を有するかを審査する。
- (2) 1次審査(書類審査)
次に掲げる書類を提出すること。
 - ア 参加申込書(1次審査書類)に必要事項を記載。
※審判委員会ホームページの様式集(昇級審査の申込用紙)から「サッカー3級」の申込書を選び使用すること。また、記入例を必ず読むこと。
 - イ 審判実績確認:レフェリーズダイアリーまたはレフェリーノートの審判記録のコピー提出(メール又は郵送)による。
- (3) 2次審査(筆記試験および体力試験)
1次審査合格者に対して、次の審査を実施する。
 - ア 開催期日 2025年10月5日(日) 野田市総合公園(陸上競技場)
 - イ 筆記試験 競技規則に関するもの。合格基準80点以上。
 - ウ 体力試験 75m走(25秒)-50m歩(30秒)×20本
 - エ 講義 合格者に3級審判員として必要な講義を実施する。

※詳細が決定し次第、KICKOFFに掲載します。

《更新講習会のお知らせ(サッカー)》

(公社)千葉県サッカー協会主催の講習会を掲載します。この講習会は、現地に集合して行う対面式の講習会です。詳しくは審判委員会ホームページのWeb申請と講習会案内をご覧ください。

お申込みはすべてKICK OFF(JFAのページ)から行ってください。なお、駐車場は有りますが、千葉県総合スポーツセンターの行事によっては駐車ができない場合があります。できるだけ公共交通機関を利用してご来場ください。

4級・3級の方は日本サッカー協会JFAが提供するオンラインサービス・KICKOFFシステムから申し込むJFAラーニングによる更新をお勧めします。

※更新講習会は、3級・4級同時開催とします。

4級審判員 (3級審判員と同時開催)

開催日	受付時間	講習時間	形式	会場	最寄駅	募集定員	駐車場	講習会費
2025年12月21日(日)	9:30 ~ 10:00	10:00 ~ 13:00	講義	スポーツ科学センター 第1研修室	千葉都市モノレール(2号線)スポーツセンター駅	100人	有り	一般 ¥6,100 ユース ¥1,550
2026年1月17日(土)	13:00 ~ 13:30	13:30 ~ 16:30	講義	スポーツ科学センター 第2・3研修室	千葉都市モノレール(2号線)スポーツセンター駅	50人	有り	一般 ¥6,100 ユース ¥1,550
2026年2月15日(日)	9:30 ~ 10:00	10:00 ~ 13:00	講義	スポーツ科学センター 第1研修室	千葉都市モノレール(2号線)スポーツセンター駅	100人	有り	一般 ¥6,100 ユース ¥1,550

3級審判員 (4級審判員と同時開催)

開催日	受付時間	講習時間	形式	会場	最寄駅	募集定員	駐車場	講習会費
2025年12月21日(日)	13:00 ~ 13:30	13:30 ~ 16:30	講義	スポーツ科学センター 第1研修室	千葉都市モノレール(2号線)スポーツセンター駅	100人	有り	一般 ¥6,900 ユース ¥2,050
2026年1月17日(土)	13:00 ~ 13:30	13:30 ~ 16:30	講義	スポーツ科学センター 第2・3研修室	千葉都市モノレール(2号線)スポーツセンター駅	50人	有り	一般 ¥6,900 ユース ¥2,050
2026年2月15日(日)	9:30 ~ 10:00	10:00 ~ 13:00	講義	スポーツ科学センター 第1研修室	千葉都市モノレール(2号線)スポーツセンター駅	100人	有り	一般 ¥6,900 ユース ¥2,050

2級審判員

開催日	受付時間	講習時間	形式	会場	最寄駅	募集定員	駐車場	講習会費
2026年1月25日(日)	17:00 ~ 17:30	17:30 ~ 20:30	講義	スポーツ科学センター 第2・3研修室	千葉都市モノレール(2号線)スポーツセンター駅	50人	有り	一般 ¥14,600

《2025年度 第2回 フットサル2級審判員推薦審査のお知らせ》

(この推薦予備試験は2026年4月(予定)に行われる(一社)関東サッカー協会(以下「関東協会」)2級昇級試験のための予備テストです)

フットサル2級審判員の昇級を希望する方は、次の方法によりチャレンジしてください。

1. 資格要件

- (1) 受験資格：2025年度の(公社)千葉県サッカー協会(以下「千葉県協会」)サッカー3級審判員として登録していること。
- (2) 次の審判実績を有していること。
 - ① フットサル3級審判員として、資格取得後1年以上で、15試合以上の審判を行っていること。
※ 15試合は、都道府県リーグ2部以上のフットサルの試合の主審あるいは第2審判として審判したものを計算する。
 - ② サッカー2級審判員
- (3) 健康など
 - ① 認定審査受験日前1年以内に健康診断を受診していること。(職場や学校などの定期健康診断を含む)
 - ② スポーツ障害保険等の保険に加入していることが望ましい。
- (4) 審判活動
フットサル2級審判員に昇級後は、(公財)日本サッカー協会や関東協会、千葉県協会の審判活動に積極的に従事できること。

2. 資格審査

- (1) 関東協会が主催する試合の主審を務める技能を有するかを審査する。
- (2) 参加者は、昇級認定審査参加にあたって、不慮の事故や疾患に関する一切の責任を自己で負う。
- (3) 申込み時、18歳未満の者が昇級認定審査に参加するには、親権者の同意がなければならない。

3. 推薦審査

- 1次審査；書類審査
 - ① 審判実績確認：審判手帳のコピー提出による。
 - ② 昇級認定審査参加申込書による。
※審判委員会ホームページの推薦審査(F2)申込書を使用して提出
審判委員会サイト(<https://chiba-fa.gr.jp/13judge/>)の様式集へ
- 2次審査；1次審査合格者に対して、筆記試験と体力試験を実施。
 - ・ 2025年10月開催予定(日時と会場が決まり次第Webに掲載します)
 - ・ 筆記試験(競技規則等に関するもの) 80点以上
 - ・ 体力試験
 - 1 Speed2×20Recovery90秒男子 3.60 女子 3.90
 - 2 CODA 男子 10.30秒女子 11.30秒
 - 3 ALIET 男子 Level14-5/885 女子 13-6/390
 - ・ 講義『2次審査合否発表後』
合格者に第3次審査の説明を実施する
- 3次審査；2次審査合格者に対して、実技審査を実施。
 - ・ 3試合実施する。
3試合共に審判アセッサー評価で8.0以上を合格とする。

4. 申込方法

- (1) Webでの申込手続きを完了させてください。
推薦審査(F2)申込書と、審判証の写真側のコピー、審判実績15試合分以上のREFEREES'DIARYまたはFUTSAL REFEREE NOTE 審判記録用紙コピーを添付し、郵送で申込みをしてください。
- (2) 受験費用：2,000円
(徴収方法はWebの指示通り事前支払いのみですので、当日現地での徴収は行いません)

※ 詳細等が決定し次第、Webサイトに掲載致します。

≪2025年度 第2回 フットサル3級審判員昇級認定審査のお知らせ≫

2025年度、第2回目の昇級試験を実施いたします。多くの方がチャレンジして、3級審判員として活躍されることを期待します。

1. 資格要件

- (1) 受験資格：2025年度の(公社)千葉県サッカー協会サッカー(以下「千葉県協会」)3級審判員、もしくはフットサル4級審判員として登録していること。
- (2) 次の審判実績のうちどちらかを有していること。
 - ①フットサル4級審判員として主審、第2審判15試合以上の審判を行っていること。
 - a. 経験対象試合は、前後半を有するフットサルの試合で、1日2試合を限度とする。
 - ②サッカー3級審判員。
- (3) 健康など
 - ① 認定審査受験日前1年以内に健康診断を受診していること。
(職場や学校などの定期健康診断を含む)
 - ② スポーツ障害保険等の保険に加入していることが望ましい。
- (4) 審判活動
フットサル3級審判員に昇級後は、千葉県協会の審判活動に積極的に従事できること。

2. 資格審査

- (1) 千葉県協会が主催する試合の主審を務める技能を有するかを審査する。
- (2) 参加者は、昇級認定審査参加にあたって、不慮の事故や疾患に関する一切の責任を自己で負う。
- (3) 申込み時、15歳以下の者が昇級認定審査に参加するには、親権者の同意がなければならない。

3. 認定審査

● 1次審査：書類審査

- ① 審判実績確認：審判手帳のコピー提出による。
- ② 昇級認定審査参加申込書による。

※審判委員会ホームページの昇級認定審査(F3)申込書を使用して提出
審判委員会サイト(<https://chiba-fa.gr.jp/13judge/>)の様式集へ

● 2次審査：1次審査合格者に対して、筆記試験と体力試験を実施。

- ・ 2025年10月開催予定(期日と会場が決まり次第Webに掲載します)
- ・ 筆記試験(競技規則等に関するもの) 70点以上
- ・ 体力試験
 - 1 Speed 2×20(Recovery90秒)男子 3.70秒女子 4.00秒
 - 2 CODA 男子 10.40秒 女子 11.40秒
 - 3 ALIET 男子 14-2/780 女子 13-3/300
- ・ 講義(合否発表後)
合格者に3級審判員として必要な講義を実施する
後日、新3級審判員講習会を実施する(実技及び講義)

4. 申込方法

- ① Webでの申込手続きを完了させてください。

昇級認定審査(F3)申込書と、審判証(現在)の顔写真側のコピー、審判実績15試合分以上のREFEREE' DIARYまたはFUTSAL REFEREE NOTE 審判記録用紙コピーを添付し、郵送で申し込みをしてください。

- ② 受験費用：2,000円

(徴収方法はWebの指示通り事前支払いのみですので、当日現地での徴収は行いません)

※ 詳細等が決定し次第、Webサイトに掲載致します。



県強化研修会を開催しました



県強化審判員対象 オンライン研修開催

◎開催日:5月16日(金)20:30~22:00

県強化審判員を対象として、オンライン研修会を開催しました。実際に対象者が担当した試合の振り返りを、担当審判員と当日のアセッサーを務めてくださった1級審判員の先立圭吾さんで行い、その振り返りに他の県強化審判員も参加する形で開催しました。

◎研修対象者=県強化審判員、その他

関東Z群に次ぐ一部の県内の2級3級審判員を対象に、通年で評価・指導を受けるグループです。関東Z群6名、県内2級3級審判員7名を対象としており、今回の研修会は県内の7名を対象としました。また当日の割当て試合を担当してくださった3級審判員1名、並びに一部の3級審判員も対象とし、指導者を含めて、最終的には11名の参加者で行われました。

◎研修の流れ

当日2試合の振り返りと、撮影した試合映像をもとに議論を深めました。特に今回は試合を担当した県強化審判員2名が映像を選択し、振り返りを進めました。その中で生じた疑問等は参加者であるその他の審判員や指導者と共に議論を深め、双方向によるやり取りを意識して行いました。

◎参加者の声

金坂健汰さん:「そのプレーがどうなるかや、その先がどうなるかを常に考えることを今回の研修会で学ぶことができました。今後少しずつ試合で意識して行きたいと思います。」

渡部功大さん:「主審のオフサイドに対する考え方、SPAについて学びました。競技規則の理解を超えて、consideration point の観点からお話いただき、「状況」に対する考え方と捉えるべき情報を再考することができました。今回のお話を踏まえ、今後のレフェリングに役立てていきたいです。」

松井誉啓さん:「今回の研修会では、自分の試合映像を使わせていただき、先立さんと振り返りをする機会があり、自分が試合中に考えていることと先立さんが考えていることの違いが少しわかった気がしました。判定と動きに関しては、まだまだレベルアップができると思うので、1試合1試合突き詰めていきたいです。このような機会を作ってくくださった皆様に感謝しかないです。これからは審判活動を頑張っていきたいです。」

濱田和孝さん:「試合を担当したわけではありませんでしたが、ご連絡を頂き参加させていただきました。担当された方の振り返りを聞き、自分で映像を見たときの考えと比較し、他の方の考えも聞き、たくさんの考えに触れより多くの引き出しを持つことができたかなと思います。研修を研修のまま終わらせることなく、実践できるようにアウトプットもし、これからの審判活動をより良いものにしていきたいです。」

第1回ビーチサッカー審判員研修会を開催しました



2025年3月16日(日)、夢フィールドビーチコート(通称ピッチカリオカ)にて、千葉県・東京都合同サッカー・フットサル審判員向け(主に3級審判員を対象とした)ビーチサッカー研修会が開催されました。

当日はあいにくの雨の中でしたが、千葉県・東京都から各7名ずつご参加いただきました。講師はJFAビーチサッカー審判巡回講師である千葉県所属の金子氏にお越しいただき、ビーチサッカー特有のオーバーヘッドキックが守られるルールや5人からなる審判チームの各ポジションについての講義、実際に砂の上を走るトレーニングなどを行いました。最後には雨も上がりビーチサッカーボールを蹴ってみたり、実際の試合形式で笛を吹いてみるプラクティカルなどを行いました。ビーチサッカーには似つかわしくない寒い中での研修となりましたが、皆さん和気あいあいと楽しそうにビーチサッカー審判法について取り組んでおられました。

初めてビーチサッカーに触れた研修生の方のコメントを掲載させていただきます。2026年も3月～4月にビーチサッカー研修会を行わせて頂きますので、ご興味のある方はご参加をお待ちしております。

○ビーチサッカー審判講習会に参加させていただいて

《サッカー3級審判 山田 裕美子》

高円宮記念JFA夢フィールドビーチサッカーピッチで開催されたビーチサッカー審判講習会に参加させていただきました。数十年前にビーチサッカーの審判をしたことあるもののルールはぼんやりしか思い出せず、とても寒く雨の降る中での講習会に心細かったですが、普段から一緒に審判活動をしている方々が沢山いて、ほっとし、楽しいものになりました。インストラクターの金子さんのお話(講義)は笑いが絶えず、ビーチサッカーの楽しさも伝わってきました。

サッカー審判だけではなくビーチサッカーの審判、フットサルの審判またはウォーキングウッドボールのコーディネーターなど色々な活動をするのもいい事だと改めて気付きました。ルールを覚えるのは大変ですが、それぞれの競技の特徴を活かしたルールがあること、審判の動き方があること、審判同士のコミュニケーションの仕方があること、とても興味深いです。そしてもう少し(?)若かったらすすんで割り当てを受けたかったなと思いました。

ビーチサッカー審判をジュニアユース年代にも紹介していきたいと思います。それにはまず自分がしっかりと分かっていないといけないので講習会にはこれからも参加したいと思います。宜しくお願いします。

講習会開催ありがとうございました！



○はじめてのビーチサッカー審判講習会

《サッカー・フットサル3級審判 豊原 秀史》

JFA夢フィールドにある「ピッチ・カリオカ」で3月16日に開催された題記講習会の参加報告をさせていただきます。

ビーチゲームといえば太陽が燦々と輝く砂浜で、というイメージが浮かびますが、当日は千葉市の最高気温が8.7℃、しかも冷たい雨が降る天候でイメージとはかけ離れた中での講習となりました。

講師はビーチサッカー審判員の指導に全国を飛び回っている金子一博さんと関東協会の篠原達哉さん。受講者は千葉から7名と東京から7名、他にも県協会から2名の方がスタッフとして我々をサポートしていただきました。

寒さを吹き飛ばすような元気一杯の金子さんの掛け声のもと、まずはピッチ(当然砂です)の感触を掴むことを主眼として軽めのランニングから始まり、その後サイドステッ





プやダッシュと強度を上げていきました。雨で湿ったピッチは重馬場(競馬用語です)状態で、普段の芝や床等のピッチに比較してかなり負荷が増える印象を受けました(瞬発力が必要)。フィジカル系だけではなく、複数のボールを同時に使ったボール回しのトレーニングも行われましたが、足元が安定しない状態では飛んできたボールを手でキャッチすることも難しくなることを体験しました(しっかりとした体幹が必要)。

今回は初心者向けの講習でしたので競技規則の実践はサッカーやフットサルと大きく異なる点に限定して行われました。ピッチ内にはマークやラインはありません。ピッチサイドに

立てられたフラッグを基準に2審と3審とが連携してキックオフのポイントを定めること、フリーキックによる再開においては相手陣地内と味方陣地内とでは壁の作り方が異なること、キーパーへのバックパスに関する留意点、等について学習する機会に恵まれました。

講習会の最後は東京と千葉に分かれてのミニゲームです。砂に足を取られて転倒したり、凹凸だらけでパスを繋ぐことが困難だったり、ボールを巡っての格闘的なゲームとなりましたが、1-0で千葉の勝利に終わりました。

日本代表は2021年のビーチサッカーワールドカップで準優勝しており、国際的に高いレベルにあります。千葉県内でも高校生や中学生の大会、関東女子ビーチサッカーツアー等の開催が予定されており、競技人口もこれから多くなることが予想されます。同様な講習会が今後も開催されるとの案内がありましたので、興味のある方は是非ご参加ください。



第1回フットサル女子帯同審判員研修会を開催しました

JFA 第12回全日本U-18フットサル選手権大会 千葉県大会の予選リーグを用いて、フットサル女子帯同審判員研修会が開催されました。当日は20名弱の女子リーグ関係者の方々にご参加いただき、事前WEB研修含め、観戦研修や実地研修を行いました。講師や実際にレフェリーをされた方々にコメントを頂いております。



【講師】フットサル2級審判・3級インストラクター 藤崎 翔平

近年ではフットサルでも女子リーグが普及し、それに伴い女性の審判員も増えております。そこで千葉県でも女性の審判員を対象にした研修会を実施しました。今回は千葉県女子フットサルリーグに所属する帯同審判員を中心に募集を募り、事前研修(WEB)と実地研修を行いました。事前研修では、審判をしているときに困ったことや、やりがいがあったことを皆さんで共有し、審判員としての基本的な動きや判断を実際に行われた映像を使って研修を行いました。

実地研修では、男子のU-18の千葉県大会の試合を使ってレフェリングを行い、その後振り返りを行いました。経験が少ない受講者については、実際の試合を観戦しインストラクターに質問をしたり、アドバイスをいただくなど双方向の形で講習を行いました。

今回が初めての試みなので、定期的に研修を行い将来は上級を目指すことができる環境を提供していけるように考えております。



【LMAKE/LMK.PIXY】齋藤 果代子

公式試合で笛を吹くのは初めてで不安もありましたが試合中、動いている自分の後ろで動き方など細かな部分までご指導頂きながら審判を行ったので、自信を持って行う事ができました。

今回で得た経験を活かして、今後の審判活動に積極的に取り組んでいきたいと思っております。



【KEL amigas】衛藤 愛

この度U-18選手権大会にて審判を経験させて頂き、普段は選手という立場で試合でプレーしている側ですが、今回男子の選手権の審判という目まぐるしい試合展開の中審判を行うことは、正直難しい場面もありました。しかし難しい中にもしっかりとジャッジ出来たなと思った時はとても嬉しく達成感を感じることが出来ました。

また事前に藤崎さんから、意識することや注意することなどを教えていただいたので迷わずにジャッジすることが出来たかなと思います。普段審判員の方達がいかにかプレーしている選手がお互い気持ち良く最大限の力を出せるよう、また選手が怪我をしないようにコントロールしてくださっているかを実感しました。

今回の審判の経験を経て自身のフットサルに対する意識や試合に臨む姿勢、審判の方に対する印象が変わりました。

藤崎さんをはじめ、当日指導して下さった協会の皆さん本当にありがとうございました！！

レフェリーのユニフォーム/用具について

(公社)千葉県サッカー協会 審判委員会
五十嵐泰之

日頃審判活動に御尽力頂きありがとうございます。今号では久しく記事にならなかった審判員の用具についてお知らせをさせていただきます。

審判を行う上で必要な用具や道具など、4級審判員の資格を取得する際、講義中に聞いたかな?という記憶くらいでその後は審判仲間が使っているもの、またはネットの情報から用具をご購入頂いていらっしゃると思います。しかしながら最近では、審判員として相応しいものなのか疑問に思うシーンもあり、敢えて書かせて頂くことにいたしました。

競技規則には主審の用具に“基本的な用具”と“その他の用具”に分かれて記載があります。

しかしながら、県内の試合ではビーブフラッグやヘッドセット(コミュニケーションシステム)は現実的ではありませんね。今回は主に県内の試合を想定して書かせて頂きます

➤ 競技者と同様に考えること

- ユニフォーム(基本、黒であること)長袖を用意できない場合にアンダーシャツを着用する場合の色はレフェリーウェアと同じ色を着用する。選手も同じですよ。袖の色、レフェリーウェアは基本的に単色なので、黒の審判服の場合、アンダーシャツは黒になります。
- 上記同様にアンダーシューズやタイツもレフェリーウェアと同色(黒)であること。レフェリーウェアの裾にラインがあるものは殆ど見かけませんが、この場合も黒の方が競技者やチーム役員にとって違和感はないように思います。
- メガネを着用する場合も競技者同様にボールが当たることや競技者と接触する可能性もあることから、安全面を考慮しコンタクトレンズやスポーツ用のメガネを着用するなど審判員ご本人と競技者の安全を考慮し着用してください。
- ソックスー膝下まであるものを着用する。こちらも黒とする。
ふくらはぎ用の着圧タイツ(カーフタイツ)のみの着用は“ソックス“ではないと認識しています。
→足首までのソックス+ふくらはぎを覆うタイツ も黒ですが、競技者はこれでは認められませんよね?
レフェリーも同様に考え膝付近まであるソックスの方が良いと考えます。
競技者と同じく、足首まであるソックスに膝までのソックスを重ねる(肌が出ていない状態)は受け入れられるものと思いますが、ソックス+ソックスの重ね履きとソックス+タイツは異なるものと認識します。



極端に暑い日や冬の寒い日など、決まり切った服装ではコンディションが悪くなる!というご意見もごもっともです。健康第一にして頂きたいという思いもあります。しかしながら一緒にゲームを楽しんでいる(戦っている)競技者に説得力や納得感、受け入れられるレフェリーのあり方として、公式戦ではレフェリーウェアのインナーで寒さ対策をすることや、競技者同様にネックウォーマーを我慢して手袋だけ…、夏も暑くても袖のあるウェアを着用しサンダラスを外す、など競技者のために試合の時だけは信頼されるレフェリーを目指して臨んで頂きたいと思います。

続きまして…

➤ レフェリー(主審+その他の審判員)に必要なもの【競技規則の 基本的な用具 より】

● 笛

高価な笛でなくて結構です。しっかりと強く吹いて競技者やフィールド周辺の方(チーム役員や交代要員、観に来て頂いている人)にも明確であることの方が重要です。

具体的な商品名は避けませんが、Jリーグなどで使用されているものは、歓声など含め大きく響く特性もあるので会場によっては大きすぎてそぐわないケースもあるかもしれません。それよりもしっかりと吹いてそれぞれの笛の特性を生かし、競技者に集中して頂ける環境を作れることを目指して頂きたいと思います。

また2会場隣り合わせの場合、同じような笛を使っていませんか?隣のフィールドの笛でプレーが止まってしまうケースも見受けられます。4種やキッズなどはフィールドそのものも広くないため、隣のピッ



チと混同しやすくなるので、笛の種類は2種類ご用意頂けるとわかりやすいと思います。笛の幅で音の高さが変わったり、コルクが入っているものとの違いなど、安価でも工夫して競技に集中できる環境を作ることは出来ると思います。

私自身は、コルクのもの(プラスチック/金属)、コルクなしで4種類、計6種類使用したことがあります。好みだけでなく周辺の環境によって試合に合うよう2種類準備するようにしています。

皆様も好みの笛(音)があるかと思いますが、隣り合ったフィールドでも対応できるように2種類のご準備を頂けると幸いです。また昔は、“赤や黄色などカードを連想させるものを見せて「笛で再開してください」などとやるべきではない！”と指導されたこともありました。笛や手袋もカードと混同する色は避けた方が無難なのだと思います。好みはあるので強制するつもりもございませんが今後購入する際のご参考にして頂ければと思います。どちらかというとも音の混同を避けて頂きたいです。

● 時計(ストップウォッチ機能があるもの)2つご準備願います

壊れたり、電池切れなどのリスクを考慮し左右の腕に着用しましょう。
ストップウォッチをお勧めします(安価でも機能はあります)。

カウントダウンタイマーはアディショナルタイムという主審の裁量を阻害する可能性があります。(音が鳴ったら勝っているチームは終了をアピールすると思います。)

ウェアラブルウォッチなども問題ありません。(特に心肺機能や移動距離、スピードの計測などは健康面でも役に立つことがあります。)

留意点として、ウェアラブル(スマート)ウォッチの使用に際しメールやチャット機能など外部との通信ができないよう準備した上でご使用ください。判定や審判活動に影響を与えることができる状態は大きなリスクと考えます。公平性や試合に影響する可能性が大いにあるのでご注意ください。また試合記録などを忘れないように時計機能以外の機能(アプリケーションなど)の使用を禁ずることはできませんが、入力している時間の長さ(紙に書く時間との比較)やフィールドから目を離している時間が長くなる=競技者からも目を話す時間が長くなること、目を離す時間が長くなることで高まるリスク(事象の把握が難しくなること)を考えると、記録は短時間で正確に書くことを推奨いたします。(雨の日でも滲まない紙もあります)



● カード レッドカードとイエローカード

こちらカードを示しやすいようポケットに入れるものと、予備をもう1セットあまり使わないポケットや記録用のノートに挟むなどご準備頂けるとカード忘れを防げると思います。ハーフタイムに着替えたり、走っていてフィールドに落としたままの状態になっても予備があれば慌てることなく対応できるご準備をお願い致します。



● ノート

競技規則にも“Notebook”と記載があります。試合の記録ができれば良いのですが、先述いたしました通り、紙とペンの方がスムーズであると考えます。

競技規則にありませんが…

● コイン

トスするとき必要ですね。



少し長文となってしまいました。お伝えしたいことは、

- ① 審判員として競技者、チーム役員、試合を観ている方から信頼を得られる服装で臨みましょう。もちろん一生懸命走ったり試合に臨む姿勢が一番ですが、見た目も含めて…であることを追記しました。
- ② 用具は競技に集中できる環境を提供するためにも笛や旗は明確に見える/聞こえる方が良いこと。また、主審だけでなく誰かが忘れた時、アクシデントで交代する時の為に、副審や4th officialも同様に予備の分を準備し携帯しておくことをお勧めいたします。

試合を頑張って頂く皆様へのお願いが多く恐縮ですが、より良い試合環境を作ることは審判員の重要なお仕事だと思います。7月号が出る頃は梅雨明け間近なのでしょうか、今年も酷暑になると言われておりますので、昼間の暑い時間だけでなく、とても暑い時期に向かいます。7~8月の公式戦は少なくなるのだと言われておりますが、9月が急に涼しくなるわけではありません。暑さ対策、健康面でのご準備を頂き競技者とともに試合を楽しんで頂ければ幸いです。

引き続き千葉県のサッカー発展にお力添えを頂けると幸いです。どうぞよろしくお願い致します。



本年度もサッカー競技規則の改正2025/26について、JFAのホームページに掲載されました。通達は以下のURLで確認できますが、わかりやすい映像もあるのでご紹介します。

↓ 通達

https://jfa.jp/documents/pdf/soccer/law_soccer_250619.pdf

↓ 2025/26年 競技規則の変更 競技規則変更の概要

https://jfa.jp/documents/pdf/soccer/law_soccer_250619_01.pdf

2025/26競技規則の改正で大きく変わる3つについて画像で説明されています。

- ① ゴールキーパーが手や腕でボールをコントロールする事に対する8秒ルール
- ② ドロップボールでの再会について(進め方)
- ③ キャプテンオンリーのガイドラインについて

<https://www.youtube.com/watch?v=xmFLAwnJoJk&t=17s>



画像クリックで動画が再生されます 

実際の映像を観ながら、改正点のポイントを押さえていきましょう！！日々変化する競技規則に対応をお願いいたします。なお、2025/26サッカー競技規則の適用開始日については以下で確認できますが、地域・都道府県FAが主催する各種大会については、大会主催者が適用開始日を決定しますので、その都度大会要項等をご確認ください。

(遅くとも2026年4月1日(水)からの適用となります)

https://jfa.jp/documents/pdf/soccer/law_soccer_250619_02.pdf




今回初めて REFEREE NEWS を担当させていただきました。先人たちが編集にかけてきた労力や工夫を身をもって体感し、不慣れなこともあって、1号作ることの大変さを痛感しております…。

さて、私がサッカーの審判員からフットサルの審判員に転向して少し経ちましたが、今回この REFEREE NEWS の編集を通じて一緒に審判活動をしてきた仲間たちが今もなお最前線で活躍していることを知り大変嬉しく感じ、また私の面識のない若い審判員たちが台頭してきていることに千葉県審判員の未来の明るさを感じました。

関東は6月10日に梅雨入りしましたが、数日の雨を挟んで急激に気温が上がり、早くも梅雨明けかというおかしな気候が続いております。サッカーは夏季の活動が大きく制限されたと聞いておりますが、フットサルは屋内スポーツということもあり夏季でも空調の効いた(とはいってもかなり汗はかきます)体育館で活動を行うことができます。またビーチサッカーとの関わりも深く、サッカーの活動が制限された今、皆さんが審判員として違うピッチで関われる環境が実はたくさんあります。日本国内においてフットサルもビーチサッカーも競技スポーツとしてはまだまだマイナーですが、日本代表の競技レベルはアジア、世界と対等に戦えるほど高いです。そんなスポーツと関われるチャンスが皆さんにもありますので、活動制限がある夏季、是非一緒にフットサルやビーチサッカーで同じピッチに立ってみませんか。とは言っても皆さんの体調の安全が何よりも最優先です。熱中症や怪我に気を付けて、心熱く審判活動に励みましょう。

サッカー2級/フットサル3級審判員 田口雄一

長田 晃	審判委員会 総務部 E-mail : cfarc.somu@gmail.com 
金子 秀之	
高野 祐介	
田口 雄一	
中山 達良	
長谷川 鉄哉	
瀧上 祥太	
公益社団法人 千葉県サッカー協会審判委員会	https://chiba-fa.gr.jp/13judge/

Facebookもチェック 

[千葉県サッカー協会 審判委員会\(発信専用\) - ホーム | Facebook](#)

<https://www.facebook.com/ChibaFA.rc>